



(新) 鶴ヶ島中学校の開校に向けて！

Q (新) 鶴ヶ島中学校開校に向けた取組は

おがわ
小川

しげる
茂 議員



A より良い開校を目指していく

問 こどもたちに寄り添った学校づくりは。

答 これまでも、こどもたちが(新) 鶴ヶ島中学校の開校を不安ではなく期待を抱いて迎えられることを第一に考え、準備を進めてきた。一例としては、制服の展示会を関係する小学校でも行い、自分たちが着用する制服を直接選ぶ機会を確保した。今後は、鶴ヶ島中学校と西中学校の学校行事などの事前交流や部活動の合同練習を検討する。併せて、生徒たちが抱く再編に対する不安を極力取り除くための取組も検討を進める。

問 見えてきた今後の具体的な課題は。

答 今までは、施設や通学路整備などのハード面を中心に準備

を進めてきた。

今後は、学校経営方針や教育課程などのソフト面の整備が中心となる。その整備の中では、特に開校時にそれぞれの中学校から集まる中学2年生や3年生に在籍する生徒たちの心理的不安を取り除くことが、最も重視すべき課題であると考えている。引き続き、鶴ヶ島中学校と西中学校の校長らを委員とした教育課程等検討専門部会や開校準備委員会と連携してより良い開校を目指していく。

Q 子の成長にデジタル化をどう役立てる

おおた
太田 忠芳 議員



A こどもと向き合える時間を増やすツールとしたい

問 公立保育所業務支援システムの保育現場での効果は。

答 指導計画や保育日誌などの

上する。

問 クラウドを利用するのか。

日々の作業負担の軽減や時間の大幅な短縮が期待でき、保育士がこどもや保護者と向き合う時間を確保できる。また、保育所と保護者が正確で迅速な情報共有ができ、保護者の利便性も向

問 教育データ活用ロードマップに沿った本市の検討方向は。

答 会議や研修などのオンライン

ン化や成績処理、事務処理のデジタル化などにより、教師が児童・生徒と向き合う時間が増え、本来担うべき業務に専念できる環境づくりにつながっている。

問 更なる支援のため、こどもの家庭の状態などの個人情報が必要となり、同意もなく利活用されるのでは。

答 国は「教育データを活用して、児童生徒個々人のふり分けを行ったり、信条や価値観等のうち本人が外部に表出することを望まない内面の部分を可視化することがないようにする」と明記している。



市内保育所でも、デジタル化をどう役立てる？